

ストレスチェック／サーベイ／こころディスカバリー（受検者向け）／職場スコープ（担当者向け） 株式会社フィスメック

<https://www.fismec.co.jp/stresscheck/>

ストレス状態の把握だけでなく、集団分析報告会や職場環境改善研修を組み合わせることでストレスチェックが効果的に働きます

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴	
北海道	東北	関東	甲信越	<p>従業員向けのストレスチェックサービスや各種サーベイの実施ができるサービス。 「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアル」に即したストレスチェックを実施できます。 また、任意に追加された質問（プレゼンティーイズム、アブセンティーイズム、睡眠、飲酒、喫煙、肥満、身体活動、睡眠時間、朝食なども可能）のデータ取得もできる。組織文化などを計測するサーベイの実施も可能。ストレスチェックとの組み合わせ、サーベイ単体でも実施可能。</p> <p>Webで実施する場合は、プラットフォーム側で、データを暗号化しておりセキュアな環境を提供するとともに、希望する場合は、無償でIPアドレスによる制限も可能である。また、レポートに際しては、専任のコンサルタントによる詳細な分析も可能であり、人事部向け、または、各所属長に対する現状の説明などの集合研修、個別コンサルティング支援という人と人との接点の展開をサービスの柱としている。マークシートによる実施も可能となっている。</p>	
北陸	東海	近畿	中国		
四国	九州	沖縄	海外		
提供可能法人規模（◎：実績あり、○：提供可）				<p>Webで実施する場合は、プラットフォーム側で、データを暗号化しておりセキュアな環境を提供するとともに、希望する場合は、無償でIPアドレスによる制限も可能である。また、レポートに際しては、専任のコンサルタントによる詳細な分析も可能であり、人事部向け、または、各所属長に対する現状の説明などの集合研修、個別コンサルティング支援という人と人との接点の展開をサービスの柱としている。マークシートによる実施も可能となっている。</p>	
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上		
◎	◎	◎	◎		
サービスの目的・期待される効果				<p>導入企業の評価</p> <p>担当者の負担軽減と実施のしやすさ： ストレスチェックの実施プロセスが担当者にとって負担が少なく、スムーズに進められる点が評価されています。これにより、企業はより効率的に従業員のストレス状況を把握できます。</p> <p>柔軟な内容カスタマイズとデータ活用の促進： お客様の要望に応じてストレスチェックの内容を柔軟に見直したり、追加質問を設けたりすることで、より精度の高いデータを取得できます。特に「職場スコープ」の活用により、受検状況のきめ細やかなサーベイが可能になり、具体的な職場改善に繋がる集団分析や時系列での評価結果の検証が促進されます。</p> <p>受検率向上のための手厚いサポート： 受検率が低迷した場合でも、拠点ごとの受診勧奨など、状況に応じた迅速な対応が提供されます。これにより、受検率の向上に繋がり、より多くの従業員がストレスチェックを受けられるようサポートします。</p> <p>従業員へのきめ細やかな対応と利便性： 従業員からの問い合わせがあった際に、受検状況を迅速に確認できる機能は、きめ細やかなサポートを可能にし、担当者の業務効率化にも貢献しています。</p>	
【凡例】◎：実証評価>●：理論的裏付け>○：ユーザー評価					
基盤整備	法制度対応		—		
	制度・施策体系の整理		—		
	人事・産業保健業務の効率化・負担減		●		
	組織状況の把握		●		
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上		○		
	相談窓口の利用率・認知率向上		—		
	プログラムへの参加率・利用率向上		—		
	不調の早期発見・対応		●		
	ヘルスリテラシー・意識向上		—		
	仕事のストレス要因低減		—		
	心理的安全性・上司のサポート力向上		—		
	周囲のサポート力向上		—		
心の健康・業務パフォーマンス	生活習慣の改善		—		
	健康状態・心理指標改善		●		
	アブセンティーイズム改善		—		
	プレゼンティーイズム改善		—		
	ワーク・エンゲージメント向上		—		
	従業員エンゲージメント向上		—		
	労務指標改善（離職率、残業時間等）		—		

ストレスチェック／サーベイ／こころディスカバリー（受検者向け）／職場スコープ（担当者向け）

株式会社フィスメック

<https://www.fismec.co.jp/stresscheck/>

理論的裏付け

採用している理論の概要

「職域うつ尺度（心の健康度・抑うつ尺度）」は17項目から構成されており、悲観・自己卑下、興味・関心の喪失、疲労感、不眠といった症状に関する回答を通じて、職場由来の心の不調を測定します。

実証評価

学術介入の有無

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介在しない独自の効果検証

エビデンスの水準

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの準
実験的研究

コホート研究

横断研究または症例対
照研究

実証評価の結果概要

尺度の開発を行い、一定の妥当性と信頼性が得られた。